

令和5年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」における目標及び目標の達成度を測る指標について

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値
香美市	①学校運営上の課題	教職員の時間外勤務の是正	教員の業務負担軽減による時間外勤務の縮減が課題となっている。教職員の働き方改革検討協議会から出された指針をもとに地域としてできる取組を考え実施する必要がある。	・市全体で地域学校協働活動推進員を各校1～2名配置する。推進員は学校と地域の連絡調整等を担う。また学校の実態に合わせた活動を実施することで教員の業務負担を測る。	学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たし、地域との協働が進み、教員の業務負担が軽減する。	教職員意識調査「2日々の業務の中で忙しいと感じているか」(6件法)であてはまると回答した教員の割合	97	%	80
香美市	②学校と地域の課題	学校支援ボランティアの確保・育成	学校によってはボランティアの確保が難しかったり、これまで参加されていた方に断られたりするケースが増えている。募集や啓発も行っているが、あまり効果が見られない。	・地域学校協働活動推進員の研修実施等、情報共有や協議の機会を設け、横のつながりを深める。公民館とも協力し、共有のボランティア名簿の作成等、市内のネットワークを強化する。	地域の学校に限らず、他校でも活動できる学校支援ボランティアが増え、次世代の新ボランティアの参加により、地域との協働がさらに活発になる。	ボランティアの登録数	435	人	450